

様式1

研修(研究)報告書

令和³年⁵月²/日

玉名市議会

議長 内田 靖信 様

氏名 古奥俊男 

下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

参加議員	佐藤幸男、中尾嘉男、近松惠美子、西川裕文 石原俊男 坂本公司		
日 時	平成 ³ 年 ¹ 月 ¹² 日(火)~平成 ³ 年 ¹ 月 ¹³ 日(水) (午前) 午後 10時 分 ~ 午前 午後 10時 00分		
場 所	玉名市役所4階オーベル会室	参加者数	40人
研修(研究)事項	発達障害を取扱う発達障害と呼ばれる子どもたち		
概要及び所見	新生クラブ会派近松議員の首領で出雲市ゆめの森子ども園園長前島由美先生を講師に迎え発達障害のことと連への対策について講和いたしました。参加者は執行部、保育士、保護者、各施設など多くの出席いたしました。急増する発達障害の原因、脳内アレルギーと脳の栄養障害と言う言葉、耳にし食へる危険という出合で食の見直しミネラル補給による改善が必要であるとのこと、ミツバチが減っているミツバチは植物にとって欠かせない存在であるからそのためには環境保全型の農業を進めていく必要があり学校給食オーガニックのものにして子どもの健康を守ることができるミネラル豊富な食材や自然有機栽培の野菜を食べる事で障害改善につながることを講じてありました。		

玉名市においても増加している発達障害と言われる子どもたちへの改善方法を考えるうえで、貴重な講演会であり、意見交換した内容を今後の施策に打ち出していきたいと考えている。

～講演会～

子どもが変わる 未来が輝く！

輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち

日時 令和3年1月12日(火)午前10時から12時

場所 玉名市役所4階

講師 前島由美先生(ゆめの森子ども園)

前島由美先生のプロフィール

25年間保育士として保育園に勤務。その時に、オーガニックな保育園の給食でアレルギー症状が改善していくのを実感。2011年保育士の仕事から療育支援へ移行。急増する発達障害児の原因を探る中、脳内アレルギーと脳の栄養障害という言葉を耳にし、「食べべきや危険」との出会いで著者の国光美佳氏とともに食の見直し(ミネラル補給)による改善に取り組む。

2013年、出雲大社の神気に包まれる地に、天然自然素材の古民家風日本家屋を新築。衣食住の皆体験を療育に取り入れるべく古民家ゆめの森子ども園を開園。

ミネラル豊富なおやつや食事を子どもたちに提供しながら、鶏、みづばち、ヤギ、ウサギ、犬、猫の飼育、自然栽培によるお米や野菜づくり、カマドでごはんを炊く等昔の生活体験や安心できる居場所づくりで現在小1～高校生まで30数名の発達障害と呼ばれる子どもたちを導いている。

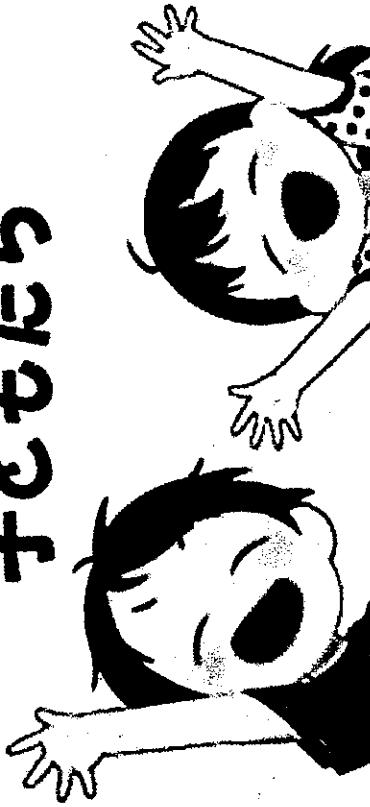
2019年、11月に保護者、校長、スタッフなどの寄稿とともに、「輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち」を出版。

主催 玉名市議会 新生クラブ
玉名市においても急増している発達障害と言われる子どもたちに対して、何か改善の方法はないものか、と考えていたところ、前島先生の著書に出会いました。今回、現場の方々と学び意見交換するなかで、このことについて市が積極的に取り組むように我々も効果的な施策を打ち出していくたいと考えております。



ゆめの森こども園
愛の調わりと通感の実例集

輝きを取り戻す 発達障がい子どもたち



輝きを取り戻す
発達障がい子どもたち

ゆめの森こども園
輝き由美

そこには愛の調わりと食事改善、学校・家庭・地域との連携がありました。
前島由美とゆめの森の連絡で実施した講習会
小学校教諭との講演で振り返る講習会
春暮春に寄せられる質問・相談への対応

